



発行所
カトリック福江教会
 広報委員会
 五島市末広町 3-6
 ☎ 0959 (72) 3957
 ●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

私は誰でしよう？

主任司祭 **中村 満**

私の父はマリオ、母はレジーナ。私是一九三六（昭和十一年）十二月十七日に生まれ、ホルへと名付けられた。アルゼンチンの首都、ブエノスアイレスの出身だ。家族は第二人、妹二人の七人家族。子供の時は、小学校も中学校も普通の公立学校に通い、専門学校に入って食品のことを学び、食品衛生研究所で働いた。十九歳の時、神父様になりたくてサンミゲルというイエズス会の神学校に入学した。二十歳の時、肋膜炎になり生死をさまよったが、肺の一部を切除する手術を受け、なんとか命を取り留めた。力強い声で話せないのはその後遺症。二十一歳になってイエズス会に入会し、司祭になるための基礎

課程を終え、二十三歳で初誓願を立てた。それから哲学、神学を学び、高校、大学で教えるなどとして、三十三歳の時、司祭叙階の恵みを受けた。その後、大神学校で働き、院長も務め、三十七歳で終生誓願を誓立。その時、イエズス会のアルゼンチン管区の管区長の選挙があり、あろうことか若輩の私が選出された。管区長を六年務め、その後、大神学校の神学科、哲学科の責任者、院長として十数年働きました。五十六歳になった時、ブエノスアイレスの大司教様を助ける補佐司教に任命され、司教に叙階されました。そして六十二歳になって大司教に任命され、六十五歳の時、枢機卿に親任されました。

これまでずっとアルゼンチンで働いていましたが、二〇一三年の三月十三日にローマであったコンクラーベという選挙で「教皇」に選ばれました。びっくりしました。それは、イエズス会からの初めての教皇選出だったからです。また、南アメリカ大陸からの初めての教皇だったからです。私は、貧しい人たちと共に生活したアッシジのフランシスコの保護と取り次ぎの下、懸命に働きたいと考え、教皇名を「フランシスコ」としました。

私は、今年の十一月に日本に行くことにしています。東京と広島と長崎に行くつもりです。私は司祭になって日本で働きたいなと思ったことがありましたが、病気の後遺症で体が元気でなかったので責任者から断られたことがあります。また、日本はイエズス会の創立者の一人、聖フランシスコ・ザビエル神父様が宣教師として働いた地です。西坂で殉教したイエズス会員もいます。あこがれの日本に、長崎に行きますので、長崎で会いましょう。一緒に世界の平和を、核兵器の廃絶を、人間の尊厳と自由を、命の大切さをアピールし、ミサの中でともに祈りあいましょう。

教会内外・墓地清掃

八月四日（日）に教会内外・墓地清掃が行われました。その日の御ミサには洗礼式があり、新しい仲間となつた赤ちゃんを皆で迎えました。そして御ミサ終了後、教会内外のいつもは手の届きづらい箇所やルード廻りの清掃を、神父様を交えて力を合わせて取り組みました。



お昼過ぎからは桐ヶ丘墓地にて、暑い中、汗だくになりながら主に草木の剪定を行いました。刈り取った草木をトラックいっぱい積みこみ終了です。

聖堂はもちろんのこと、教会やご先祖が眠るお墓が綺麗になるとなんだか心も綺麗になるようです。

次回は皆さんも一緒にどうぞ！



先祖が眠るお墓が綺麗になるとなんだか心も綺麗になるようです。

次回は皆さんも一緒にどうぞ！

六年計画で長崎教区の取り組みが始まりました

『ミゼリコルディア長崎』

―地域に根ざしたボランティア・ネットワークづくり―

近年、急激な少子高齢化の進行や人口減少、核家族の増加などに伴い高齢者の独り暮らしの増加や、老々介護の実態など様々な問題が深刻ななっています。また地域においても「共に支え、助け合う」といった社会的意識も希薄になってきているなど、地域を取り巻く環境も大きく変化しています。このような社会状況の中で、**教会と社会（地域）**が共に協力し合い、**住民主体の地域作り**を始めるために「ミゼリコルディア長崎」―地域に根ざしたボランティア・ネットワークづくり―の取り組みを、第一期三年と第二期三年の計六年計画で進めていく事になりました。

これは、ひとりひとりの信徒が年齢や障害の有無、福祉の担い手、受け手などの立場の違いに関わらず、互いに支え合い、必要な支援や、サービスを受け、身体だけでなく心の健康と霊的な成長を得て、その人らしく自立した社会生活を行いながら、キリストの慈しみを生きたる信仰の生きた姿を通して、地域がより平和で安心して、いきいきと生きることが出来る小共同体

づくりを目指すというものです。

第1期

（二〇一九年四月～二〇二二年三月）

「地域に根ざしたキリストのいっくしみを生きる教会・小共同体づくり」

小教区としては、二〇二二年に長崎教区で開催が決定した、日本カトリック障害者連絡協議会（カ障連）に向けて、障害者への関心と理解を深め、障害者が教会と社会の活動に参加できるように、手話講習や啓発活動を行いながらいつでもどここの教会でも手話ミサが出来ることを目指します。

地区としては、地域に必要とされる社会活動を取捨選択し、地域の人々と共に歩む教会を目指します。（各教会ごとに地域に合う活動を計画、実行していく）

第2期

（二〇二二年四月～二〇二五年三月）

第一期の計画、実行の成果を見ながら改善策や、計画の見直しなどの期間とする。

少し堅苦しいような気もしますが、要訳すると「誰もが安心して暮らせる教会、地域にするために、ひとりひとりが困っている人に関心を

持ち、手を差し伸べてキリストの伝える愛の業を行っていきましよう」ということです。しかし今始まったばかりで手探りの状態です。福江教会は何が出来たのか？ 何をしたらいいのか？ 模索中です。みなさんと一緒に考えていきたいと思えますので、困っている事、要望ご意見があれば聞かせて下さい！

聖母祭 2019

八月十一日(日)午後五時半より、福江教会の境内にて聖母祭が行われた。接近中の台風の影響もあり、曇り空に時折強風の吹き抜ける中であったが、多数の来客に恵まれた開催となった。焼鳥やカレー、シスターの売店に高校生会のゲーム、金神父さまのチヂミなど沢山の屋台があり、盛況のうちに祭が進行した。

子供たちや下原神父さまの歌などで盛り上がった後、最後は恒例の福引きで終了した。

毎年、最も暑い時期に行われる聖母祭。準



カレーの屋台



子供たちが元気に歌ってくれました



福引きの様子



シスターの売店

備や片付けなど高校生を初め、老若男女多数のお手伝いがあったり成り立っている事を改めて実感した。これからも聖母祭を通じて、地区や世代を越えた信徒の交流の輪が更に広がっていくことを願っている。

下五島地区

小学生黙想会

七月二日(月)に下五島地区小学生黙想会が福江教会で行われました。

午前中は中村神父様の「フランシスコ教皇の生い立ち」についてのお話を聞き、その後一、二年生は平和と愛を伝えるアニメDVD「あなたをずっとあいしている」を鑑賞、三、六年生は「POSTゲーム」という九つのミッションをグループに分かれてクリアしながら平和を体験し学習するレクリエーションを行いました。お昼ご飯はみんなで黙想会の最後に感謝のミサを共にささげ、集合写真を撮影し、黙想会の日程を終えました。お天気も晴天に恵まれ、子どもたちのたくさんの笑顔あふれる実りの日となりました。

◇「きょうりゅうのポスト」

2年 おだ いくま

ぼくはきょうりゅうのテレビを見ました。さいしよにきょうりゅうのおかあさんがかけからおちてしんだかと思っただけいきていました。だけどきょうりゅうのおとうさんがしんでいたのきょうりゅうの子ども

がかわいそうでした。きょうりゅうの子どもに新しいおともだちができていいなと思いました。きょうりゅうの子どもがおともだちにやさしくできるってことがとてもすごいなと思いました。ほかのきょうりゅうとも力をあわせたからとってもがんばってるなと思うばんがたくさんありました。みんながんばるぞという目をしていました。さいごにはみんな力をあわせてがんばっていました。さいごはかんどうしました。

◇「もくそう会に参加して」

6年 洗川 優芽

今日のもくそう会で、さいしよにフランシスコ教皇様について、中村神父さまが教えてくれました。これからも知っていききたいです。私はグループに分かれたとき、他の教会から来た人たちや、同じ福江教会の人たちと仲良くグループ活動ができました。友達が増えて良かったです。お昼ご飯は、弟と弁当を見せ合ったり、食べたりました。お母さんのおいしいうけんめい作ってくれた気持ちがかもっていて、とてもおいしかったです。私はこの黙想会で6人の人と友達になることができました。

グループで協力することができました。とても楽しかったです。このもくそう会で友達や友達との「きずな」ができたのは、このもくそう会を計画してくれた人たちのおかげです。ありがとうございました。いい思い出ができました。うれしいです。

◇「黙想会に参加して」

6年 濱崎 海心

ぼくは、黙想会に参加して思ったことがあります。一つ目はグループ活動です。POSTゲームではグループ活動しました。初めて会う友達と一緒にグループでうまく話せるかと心配でした。けれども、自分から話しかけてくれました。とてもうれしかったです。やっぱり友達はいないと改めて思いました。二つ目はPOSTゲームです。POSTゲームでは、難しい問題もあ



○1年 戸村 いおり



○1年 中田 ゆい



○1年 なかしま かいと

れば楽しい問題もありました。POSTゲームで初めて会う友達とも仲良くなれました。このゲームで平和について学びました。最後の黙想会はとてもいい黙想会でした。お昼ご飯で友達と仲良くしゃべりながら食べられたので良かったです。最後の黙想会で学んだことはいつさいわすれません。そして、こんな天気にも恵まれて良かったです。そしてたのしかったです。



下原神父様霊名のお祝い



六月二三日
(日) 二番ミサ
後に、下原和
希神父様の霊
名のお祝い式が
行われた。信
徒代表より、

花束と霊的花束が贈られ、子供代表よりお祝いの言葉の発表があった。下原神父様より「みなさんありがとうございます。福江教会に来て残念だと思ふ事があります。それはこちらに来て二ヶ月で主日のミサを捧げたのが二回目なんです。次に捧げるのは何ヶ月後になるのでしょうか。中村神父様にもっと福江教会でさせて下さいとお願ひしているところです。」と冗談を交えながら挨拶をされた。福江教会という新たな教会で、不慣れな点もあるかと思いますが、主任司祭の中村神父様と後輩の金神父様の両方のフォロー役としても頑張ってください！

(下原神父様ってどんな人?)

下原神父様を皆さんに知って頂くためにアンケートをしました！

- ① 霊名は?…ペトロ
- ② 叙階された年月日は?
: 2017年3月19日
- ③ 出身教会は?…土井ノ浦教会

④ 生年月日は?
: 1988年3月18日

⑤ 好きな食べ物は何?…カレー

⑥ 嫌いな食べ物は何?…グリーンピース

⑦ 趣味、特技は何?…走る事が好きです。ただ、最近走っていないので自信なし。

⑧ 自分で思う長所は何?…特になし

⑨ 自分で思う短所は何?…何かと逃げようとする。

⑩ 神父になるうと思つたきっかけは何?…小学生の時、出身の司祭にあこがれて。

⑪ 福江教会在任中にやりたい事、抱負など…涙腺だけでなく、福江や井持浦との関わりを多く持ちたい。

《寄付・香典返し》御礼

- 中山末義様
故マチャス永耕蔵様
 - 小畑和男様
故ラウレンシオ小畑勇様
 - 岩下康孝様
故ステファノ岩下長吉様
 - 福島和子様
故ペトロ福島栄様
 - 佐舖幸子様
故ルチア野口操子様
- 右記の方から、寄付及び香典返しとしてご芳志を賜りました。ご報告申し上げますと共に、故人の永遠の安息を心からお祈り申し上げます。

第27回ルルド祭



五月十二日(日) 井持浦教会にて第二七回ルルド祭が行われた。
「平和の元后マリア様」と共に歩もう」とのテーマで執り行われた今年のルルド祭には、約二百人ほどの信徒が下五島の各小教区より集まった。

始めにロザリオ行列が行われ、後にルルド前にて祈念ミサが行われた。ミサの中で金神父様は「ルルドの聖母は私達に愛を持って出現された。イエス様の愛、マリア様の愛を感謝のうちに受けて、さらに祈りと行いを通してその愛に込めてまいりましょう。」と述べられた。

令和初の下五島地区の行事となったルルド祭だったが、年々参加者が少なくなっている。福江から車で片道一時間弱と少々遠くはあるが(毎年現地まで歩いてるシスターもいます)、聖母月である五月に井持浦のルルドを訪れる事で、マリア様に近づき、その無償の愛を感じる機会としていただきたい。



編集後記

暑い日が続いてますが、皆様いかがお過ごしですか。

今回の記事では、私達が信仰を守り続けて行くだけでなく、自分が何か出来る出来ないかを考えるきっかけになればとの思いがあります。また、聖母祭夜市では、暑い中、各委員会、婦人部、シスターや信徒の皆様との協力で無事に終わることができたと思います。

今、各家庭では、教皇様をお迎えする準備として、意向のお祈りをして、折り鶴の準備をしている頃でしょうか。十一月まで、長崎でのミサに参加出来るように準備したいものです。その前に、九月十六日、中村倫明司教叙階の日も私は、期待して準備して待ちたいと思います。

(N)